

水戸済生会総合病院を受診・入院された患者様

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせにお問い合わせください。

研究課題名	看護師特定行為修了者(特定看護師)による自発覚醒・自発呼吸トライアル(以下 SAT・SBT)の実施と効果
研究責任者	村上友香、高木優樹
研究の目的	人工呼吸器からの早期離脱が、人工呼吸器の装着期間や ICU 滞在日数の短縮、患者の ADL/QOL の改善や死亡率の減少につながる ³⁻⁴⁾ が、本邦における「SAT、SBT の頻繁な実施については、60.8%、58.1%」 ⁵⁾ で、約 40%は SAT・SBT 未実施と捉えることができる。A 病院 ICU では呼吸器(人工呼吸器)関連区分修了者が 4 名在籍し、医師の不在時にも手順書に基づいて SAT・SBT プロトコルを使用して人工呼吸の離脱に関与しているが、実施状況についての把握はできていない。そこで A 病院における SAT・SBT の実施状況を把握し、特定看護師介入群と特定看護師非介入群を後ろ向きに比較検討し、人工呼吸器の離脱に影響を与えているか明らかにするため、本研究を行う。
調査データの該当期間	2024 年 4 月 1 日～2025年3月 31 日
研究の方法(研究対象者)	当院 ICU へ入院歴のある患者さまで人工呼吸器を装着していた患者さま
研究の方法(研究のデザイン)	観察研究(後ろ向き研究)
研究の方法(使用する情報)	<p><患者背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、入院前 ADL ・緊急入院、緊急手術、予定手術、院内急変 ・入院日、ICU 入室日、手術日、ICU 退室日、ICU 滞在日数、退院、転機 ・人工呼吸器使用開始日、人工呼吸器装着日数、SAT 開始日、SAT 日数、SBT 開始日、SBT 日数、抜管日 ・興奮状態が持続し、鎮静薬の投与量が増加している、筋弛緩薬を使用している、24 時間以内の新たな不整脈や心筋虚血の徴候、痙攣、アルコール離脱症状のため鎮静薬を持続投与中、頭蓋内圧の上昇 HR<40 に該当するか否か ・再挿管の有無 <p><看護師背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SAT・SBT プロトコル使用の有無 ・勤務帯別の担当看護師/特定看護師(深夜、日勤、準夜勤) ・SAT 実施時勤務帯別の担当看護師/特定看護師へ依頼/特定看護師/(深夜、日勤、準夜勤) ・SBT 実施時勤務帯別の担当看護師/特定看護師へ依頼/特定看護師/(深夜、日勤、準夜勤)

個人情報の取り扱い	使用する情報から対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は院内・院外発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反	臨床研究における利益相反(COI: Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断に歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬会社や医療機器メーカーからの研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。 なお、本研究の利益相反については倫理委員会で審査され、適切に管理されています。
問い合わせ先	<p style="text-align: center;">水戸済生会総合病院 〒311-4198 茨城県水戸市双葉台 3 丁目 3 番 10 TEL:029-254-5151(代) 研究責任者 ICU 看護師 村上友香</p>